

会議録

会議の名称	令和7年度 第5回西東京市文化芸術振興推進委員会
開催日時	令和8年2月19日（木） 午後5時から午後6時50分
開催場所	田無第二庁舎4階会議室2
出席者	委員：（対面）新藤委員長、遠野副委員長、中山委員、笠原委員、中野委員、青木委員、森委員、濱田委員、亀田委員 （オンライン）宮内委員 事務局：文化振興課渡邊課長、文化振興課文化振興係衣笠係長、文化振興課文化振興係神田主事
議題	1 西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」施策により生み出される効果に関する文化芸術振興推進委員会からの総合評価コメント（案）について 2 その他
会議資料の名称	資料1 西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」施策により生み出される効果及び総合評価コメントに関する一覧表
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 <input type="checkbox"/> 発言者の発言内容ごとの要点記録 <input checked="" type="checkbox"/> 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>【以下、新藤委員長にて議事進行】</p> <p>1 開会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインによる参加も可能としていることを説明。 ・事務局にて「第4回文化芸術振興推進委員会会議録（案）」を作成し提示。委員より異論がなかったため、正式な会議録とすることで全会一致。 <p>2 【議題1】西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」施策により生み出される効果に関する文化芸術振興推進委員会からの総合評価コメント（案）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局にて、資料1を用いて「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」調査結果の総合評価コメントについて説明。 <p>○委員長：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1に基づき、本日の委員会では「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」調査結果の総合評価コメントの確定に向けて、委員より意見をいただくこととする。 <p>【基本方針3「文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる」について】</p>	

- 委員長：
・前回委員会にて意見をいただいた基本方針3「文化芸術の力を地域や社会の中で活かす・つなげる」について、総合評価コメントを作成したため、委員より意見をいただきたい。
- 委員：
・「若い世代や観光客への働きかけ」とあるが、「観光客」ではなく、「インバウンド」と表現するのはどうか。
- 委員：
・近隣自治体の取組を踏まえると、本市においても観光やプロモーションの視点を持つことは必要ではないか。いわゆる大規模な観光施設の有無にかかわらず、市の魅力を発信すること自体が重要であると考えます。
- 委員：
・「観光客」という表現については、従来型の観光のイメージに限定される印象もある。市外からの来訪者など、やや広い概念で表現することも検討してはどうか。
- 委員長：
・「若い世代や観光客への働きかけ」という表現は「若い世代や市外への働きかけ」に修正する。
- 委員：
・「シティセールス」という表現は「シティプロモーション」に修正してはどうか。
- 委員長：
・修正する。
- 委員：
・「③行政が全て行うのではなく市民の自発的な活動をサポートするという自治体の姿勢は忘れてはならない視点である。」という表現は、「③行政が全て行うのではなく市民の自発的な活動をサポートするという自治体の姿勢は忘れてはならない」とし、簡潔にした方が文章全体としてわかりやすいのではないかと。
- 委員長：
・「視点である」という表現を削除する。
- 委員：
・YouTubeのみを特記するのではなく、「SNS」など包括的な表現の方がよいのではないかと。
- 委員長：
・「YouTubeなどのSNS」という表現に整理する。
- 事務局：
・姉妹都市のみの記載となっているが、友好都市もあるため、「姉妹都市・友好都市」と併記する。
- 委員：
・市内の文化資源の例示について、「下野谷遺跡」を加えてはどうか。

○委員長：

- ・「下野谷遺跡」を追加する。

【基本方針1「市民一人ひとりが身近に文化芸術に触れる・楽しむ」及び基本方針2「地域の文化芸術活動に関わる人と場を結ぶ・支える」について】

○委員長：

- ・これまでに作成した基本方針1及び2の総合評価コメントについて、委員より意見をいただきたい。

○委員長：

- ・基本方針2について、「横・縦・斜めの関係」という表現を、より分かりやすくするため、「世代間、団体間の交流」に修正してはどうか。

【異議なし】

○委員：

- ・デジタル化の記載について、否定的に受け取られないよう配慮が必要ではないか。

○事務局：

- ・「デジタル化の進展に伴い人々のつながりが希薄化していく」という表現を削除する。

○委員長：

- ・基本方針2について、各種活動の助成機会のさらなる充実の記載について、選定基準が不明確であるとの誤解を招かないよう、「選定基準も含め、助成制度の周知の努力など」と修正してはどうか。

【異議なし】

○委員長：

- ・基本方針2について、「⑤伝統文化の『継承』のみにとどまらない新たな価値の発信」を「⑤伝統文化の継承のみにとどまらない多様な文化の発信」に修正してはどうか。

○委員：

「新たな価値」という表現は重要である。単なる多様化ではなく、継承に加えて新しい価値を創出していくという趣旨が伝わるような文言が望ましい。

○委員：

継承と創造の両面を意識した表現が必要である。

○委員長：

- ・「新たな価値創出に向けた発信」という表現に修正する。

○委員：

- ・基本方針2について、第2段落と第3段落の構成が分かりにくい。段落構成を整理した方がよい。

○委員長：

- ・①から③までの番号を外し、鍵括弧を追加することで整理する。

○委員：

- ・基本方針2について、「何より重要である」という表現は強すぎる印象もあるが、委員会としての想いを示すことも重要である。

○委員長：

- ・「何より」という表現を削除する。

○委員長：

- ・修正箇所が多いため、事務局で整理のうえ、最終案をメールで各委員に送付し確認を行うこととする。

○事務局：

- ・承知した。修正案を送付し、一定期間の確認期間を設けたうえで確定とする。

3 【議題2】その他について

○委員：

- ・第3期文化芸術振興計画の評価方法について、委員の意見を伺いたい。

○委員：

- ・再掲として同じ事業が何度も記載されているのは、見づらく感じる。

○委員：

- ・西東京市第3期文化芸術振興計画「令和7年度施策・事業評価（令和6年度分）」施策により生み出される効果及び総合評価コメントに関する一覧表について、事業数は延べ数という認識でよいか。

○事務局：

- ・関連施策がある場合、複数の効果に寄与しているため、事業数は延べ数となる。公開にあたっては補足として説明を入れることも検討したい。

○委員：

- ・評価の重複表示や整理方法について、今後も検討の余地がある。

○事務局：

- ・本日の第5回委員会をもって、令和7年度の委員会は終了となる。
- ・本委員会にて作成いただいた総合評価コメントは市長へ報告予定である。
- ・現委員の任期は令和8年7月31日までであり、次期委員の公募等については改めてご案内する。

○委員長：

- ・本日が今期最後の委員会となる。これまでの協力に感謝する。今後も文化芸術振興に向けた取組への協力をお願いしたい。

4 閉会

以上